



CLOSE UP VOICE

川村商事 株式会社
代表取締役社長 川村 荒治 さん

変革期を乗り越え、
新ジャンルで大躍進

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大きく売上が落ち込んでいる企業が多い中で、M&Aの余波を受けながらも、新規事業を設立し、大きく変貌を遂げた企業がある。時代や環境に応じて柔軟な体制で対処し、変革期を乗り越えつつある川村商事株式会社に、その経緯と想いを伺いました。

Kawamura Kenji

時代の流れを先読みし、最善の一手で変革期を制す

——事業内容と企業の歩みをご紹介ください。

川村▼1968年、初代代表取締役社長・川村 盈により食品加工業・飲食業並びに、それに付随する業務を目的とした事業所として設立。創業当初は、ユニー株式会社の社員食堂運営等の給食事業によって事業を拡大いたしました。

その後、2013年から旧車の買取・販売に特化した自動車事業部、2016年からマンション賃貸事業を中心とした不動産事業の計画を進め、創立50周年の2018年に設立を発表させていただきました。現在では給食事業と合わせた三本柱で運営しています。

——川村社長の簡単な経歴や経営に對しての考え方を教えてください。

川村▼私自身は入社する以前の学生時代から、土日祝日には飲食業を手伝っていました。おかげで、自然と調理技術や経営術が身につき、今では非常に良い経験を積んだと感じています。また、大学時代には趣味である自動車関連の方々と懇意にさせていただき、現在の自動車事業部に関連するお取引様と繋がるきっかけとなり、事業設立に大変貢献していただきました。

——不動産事業及び自動車事業部の設立の経緯を教えてください。

川村▼創業して53年、昭和・平成・令和と年号が移り行く中で、高度経済成長・オイルショック・リーマンショック・新型コロナウイルス感染症拡大など、経済の浮き沈みを経験してきました。大手企業の破綻や吸収合併が繰り返され、成長期には見られない状況が見受けられる中、弊社も同様の事態の余波を受けることとなりました。

ユニー株式会社がM&Aにより吸収合併され、そのお力を借りて弊社が運営する70事業所を今年4月までの2年間に閉鎖する状況下に置かれてしまったのです。

しかし、幸いにも弊社はM&Aより以前に、会社の存続のためには、他企業に頼ることなく、自益活動での営利を求めない環境・状況に変えなければならぬと考えて、取り組んでいたおかげで、窮地を乗り越え、新しい事業も予定通り軌道に乗せることができました。もしも一つの事業だけで運営していたら、いまごろ弊社は倒産していたことでしょう。

また、いまある各事業をさらに充実し楽しむこと、それが「人の輪」を作り出すと考えています。楽しむ中でヒトとモノが回り、それが利益・利潤に繋がってきます。そして、人の輪はさらなる人の輪を作り出し、自ずと商圏も広がっていくのです。さらに、お客様は真剣に楽しんでいるのですから、我々も誠

INTERVIEW



川村商事 株式会社
豊橋市東小田原町94 川村ビルII
0532-55-5823

様へのサービスに特化した業態であり、薄利多売の中で営業数値を捻出するのは大変ですが、今まで継続で雇用している弊社従業員の働く場として、継続できるように努めることが会社としての義務であると考えています。

現在では、地元金融機関の食堂運営が主となっておりますので、幸いにも新型コロナウイルス感染症の影響はほとんど受けることはありませんでした。同様に不動産事業や自動車事業もほとんど影響がなく順調に売上を伸ばしております。今期は、自動車販売事業では3億5千万円、不動産業が1億円、飲食業も1億円の売上げを見込んでおり、昨年度と比較しても変わらない数字の売上げを上げています。

——突然のM&Aや新型コロナウイルスなど、経営継続の危機を回避していることはありますか。

川村▼コロナ禍においてはどの業界も大変な状況であると思いますが、常に経済環境は著しく変化しますが、常に経済環境は著しく変化するものだと認識し、各事業における「環境や流れの把握」及び、「変化に対応できる体質転換」が肝要です。その手法においては、経験値をもつていかに判断するかが要でありますが、時にはその判断すらも断ち切る勇気が必要になります。

——将来のビジョンを教えてください。

川村▼M&Aや新型コロナウイルスが偶然にも今回弊社の環境変化と重なり、事前に想定していた変革の最中であつたため、影響を最小限に抑えることができました。今後は少数精鋭主義で、会社として自力のある体質への変換が一番必要な時であると感じており、今までの会社から新たな体質の会社へ進化させていきたいと考えております。



結果的に、200名弱在籍しておりました従業員は、3月末をもって役員を含めて45名となり、80以上ありました事業所は22事業所となりました。今後は在籍している従業員の力を合わせて、給食事業の安定的継続を進めることが肝要であり、従業員の意識改革も必要であると考えています。

——それぞれの事業内容をご紹介します。

川村▼不動産事業としては、「CASA94やアパートメント」桜木」等の不動産賃貸です。自動車販売事業も同様ですが、経済環境的変化の余波を受けにくいですが、置かれている状況を鑑みながら運営・マネージメント戦略を立てなければならぬと思っています。

事業をスタートするにあたり、まず、我々は不動産賃貸における、最大の運営条件は候補立地の選定が一番肝心であるという考えに至りました。幸運にも先代より確保を進めた隣地は豊橋駅周辺から500m以内の物件でありました。これを有効活用すべく、物件が銀行各社に事業性融資案件として評価していただくための提案に力を注いだ結果、多くのサポートを受けながらCASA94が誕生しました。2023年には、CASA94の隣地を活用し、CASA99（仮称）の建設を計画立案しており、銀行のご協力により実現の方向に進んでいます。これにより、賃貸部屋数が134部屋となります。さらに、近隣に220坪の案件があり、CASA94と同規模の賃貸マンションを計画中です。これが成立すれば総部屋数215部屋を運営する賃貸事業へと拡大する予定となっております。

自動車事業部は、旧車の買取・販売とコアな事業形態ではありませんが、完全に特化しているので、一般的な自動車販売店には真似できません。

旧車は高度経済成長期に誕生した素晴らしい文化だと考えており、自動車事業部では、その想いと価値を次の世代へ引き継ぐための業務だと考え取り組んでいます。

飲食事業においては、取引各社における福利厚生の中での従業員

経験値をもつていかに判断するかが要であり、時にはその判断すらも断ち切る勇気が必要になります。

ALL BUSINESSES



自動車事業部

旧車・絶版車の買取・販売を行う専門店「AUTO ADVISER STUFF」。自動車の歴史にその名を残し、美しくレストアされた名車が並びます。
AUTO ADVISER STUFF
豊橋市東小田原町94 川村ビルII
0532-55-5530



不動産事業部

CASA94やアパートメント「桜木」などの不動産賃貸業を行う事業部。2023年には、CASA94の隣地を活用し、CASA99の建設を計画立案中。

給食事業部

主に企業の食堂の運営。他にも、水上ビルにて、名豊ビルで食堂を運営していたころの昔懐かしいメニューを復刻した「水上食堂」を運営している。
食事処 水上食堂
豊橋市駅前大通2丁目71-18
0532-35-9828

